

平成29年8月1・10日実施

「親子で学ぼう！読書感想文」子どもプログラムの様子

講師：福富 洋子さん

(一般社団法人教育コミュニケーション協会 キッズ作文トレーナー)

【講座のはじめ】

★はじめに30分間、読書感想文を書く本をじっくり読みました。自分で持ってきた本や、図書館の人が選んでくれた本の中から好きな本を選んで読みました。

★本を読み終わった子はほとんどいませんが、つぎは読書感想文を書いていきましょう。

★いよいよ読書感動文を書き始めます。先生がみんなに聞きました。

『みんなは、読書感想文が「好き」・「ふつう」・「きれい」の3つから選ぶとするとどれですか？』
「好き」と「ふつう」と答えた子も少しいましたが、たくさんの子が「きれい」と言っていました。講座のあとは、「好き」と「ふつう」の子が増えているといいですね。



【読書感想文を書きます】

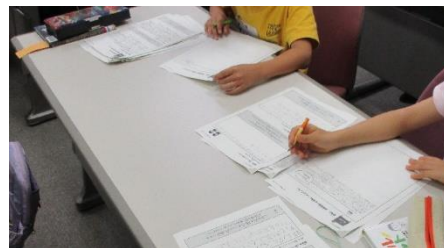
★この講座では、読書感想文を「きれい」から「好き」になれるような練習をします。
たとえば自転車にはじめから上手に乗れなくても、練習をすれば乗ることができるように、読書感想文も書く練習をすれば、少しずつ書くことができるようになります。

★プリントに書いている質問に答えていくと、書いた答えが読書感想文の下書きになります。
本を見ながら、先生のお話を聞きながら、プリントに書いている質問の答えを書きました。むずかしいなと思った子は、答えやすいところから書いたり、先生がちがう言葉で質問をしてくれたりして、質問の答えを書き進めることができました。

★下書きが終わったら少しお休み。先生が楽しい絵本を読んでくれました。



★つぎは、下書きした質問の答えをまとめていきます。
ここからは、もう本は見ません。下書きを見ながら、
みんなとても集中して読書感想文を書いていきます。



★下書きをして、読書感想文に書きたいことが見つかったので、
いつもより上手に書くことができました。



【講座が終わりました】

★みなさん、どうでしたか？ちょっと書けそうな気がしてきましたか？では、読書感想文が「きらい」から「ふつう」になった人、手をあげてみましょう。はじめに聞いたときより、「ふつう」と「すき」になった子が多くなりました！

★最後まで書ききれなかった子は残って書いてもらっても大丈夫です。
まだ先生たちはいるので、わからないところがあれば聞いてください。

★こうやって練習すれば、どんどん上手に書けるようになるので、
おうちでもやってみてね。

★ありがとうございました。



【講座全体の様子】

講座が始まり、子どもたちは自分の読んでいた本をペラペラと読み返し、集中してプリントにそって質問の答えを書いていました。質問の答えが見つからない子には、講師が順次、子どもたちに話しかけ、子どもたちの言葉を引き出すことで、質問の答えがひらめいているようでした。最初は鉛筆が進まない子も多くいましたが、下書きが終わったあとはスラスラと書いていく様子がうかがえました。

講座の後、子どもたちにアンケートを書いてもらったところ、「楽しくできた」や「思ったより簡単だった」と感想を書いてくれました。